

プラスチック廃棄物再資源化でインドの社会問題解決

～京都の企業が擬木、樹脂再生ペレット及び廃棄物固形燃料（RDF）の製造に係る

ODA 案件化調査に着手～

国際協力機構(JICA)は1月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において日本グリーンパックス株式会社(京都府長岡京市、山中利一代表取締役)が提案する「グジャラート州におけるプラスチック廃棄物再資源化に関する案件化調査」(インド)を採択しました。

グジャラート州では急速な経済発展に伴い廃棄物発生量が増加し、その処理が課題となっています。世界最悪環境汚染10大都市の一つに入ったことのある同州 Vapi 市の産業協会より日本グリーンパックス社の廃プラスチック再資源化技術で工場から排出されるプラスチック廃棄物対策を行いたいとの要望が2015年にありました。

今回、日本グリーンパックス社が提案する製品・技術は工業団地から発生する廃プラスチックから①プラスチック擬木、②樹脂ペレット、③廃棄物固形燃料（RDF）を製造・販売する事業パッケージです。



工業団地内の廃プラの山



再生樹脂を使った擬木



樹脂再生ペレット

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:https://www.jica.go.jp/press/2016/20160130_03.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 中山

TEL: 078-261-0397 E-mail: Nakayama.Shigehiko@jica.go.jp